

| | | | | | | |
|---|--|---|--|--|-----------|--|
| 阿南工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和05年度 (2023年度) | 授業科目 | 英語の語彙・文法2 | |
| 科目基礎情報 | | | | | | |
| 科目番号 | 1194203 | | 科目区分 | 一般 / 選択 | | |
| 授業形態 | 講義 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | | |
| 開設学科 | 一般教養 | | 対象学年 | 4 | | |
| 開設期 | 後期 | | 週時間数 | 2 | | |
| 教科書/教材 | BEAT YOUR BEST SCORE ON THE TOEIC L&R TEST ポキャビル重視型TOEIC L&R総合演習・速読速聴・英単語 Core1900 (Z会) | | | | | |
| 担当教員 | 小笠原 麻衣子 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | | |
| 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 2. 授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を理解し、運用できるようになる。 4. TOEICテストにおいて、400～550点以上を獲得する。 | | | | | | |
| ループリック | | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | | |
| 到達目標1 | TOEICの出題傾向、出題形式を把握し、解答時間も考慮しながら適切な対応ができる。 | TOEICの出題傾向を把握し、各パートの問題形式に対応できる。 | TOEICの出題傾向を把握しておらず、各パートの問題形式に対応できない。 | | | |
| 到達目標2 | 授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の90%以上を暗記し、正しく運用できる。 | 授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の60%程度を暗記し、ほぼ正しく運用できる。 | 授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の暗記が60%未満で運用力が低い。 | | | |
| 到達目標3 | 授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を90%以上理解し、正しく運用できる。 | 授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を60%程度理解し、ほぼ正しく運用できる。 | 授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文の理解が60%未満で運用力が低い。 | | | |
| 到達目標4 | TOEICテストにおいて、550点以上を獲得した。 | TOEICテストにおいて、400点以上を獲得した。 | TOEICスコアが400点以下である。 | | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | | |
| 学習・教育到達度目標 C-3 | | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | | |
| 概要 | TOEIC L&R の実践形式の問題演習を通して語彙力、文法力、聴解力、読解力を総合的に向上させ、550点のTOEICスコア達成を目指す。特に語彙に関しては、馴染みのないTOEIC頻出のビジネス関連の用語や表現に繰り返し触れ、しっかり暗記して語彙力を強化する。 | | | | | |
| 授業の進め方・方法 | TOEIC対策用のテキストを使った演習形式の授業である。授業では語彙力、文法力の強化をめざして学習を進めるため、リスニング問題は各自で予習してくる。事前学習として、各チャプターの重要表現(Vocabulary)を音声で聞いて記入し、GRAMMAR REVIEWのページで基本文法の復習をしてから授業に臨むこと。毎回の授業に加えて、自習課題でTOEIC受験に備える。TOEIC IPテスト、TOEIC公開テストを計画的に受験する。【授業時間30時間】 | | | | | |
| 注意点 | 正当な理由のない欠席については、小テストの追試は実施しない。 | | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | | |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | | | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | オリエンテーション Chapter1 (語彙ターゲット: 買い物に関する語彙・文法ターゲット: 文型) | 教科書の使い方説明、各Chapterの語彙ターゲット、文法ターゲットの説明、後期の目標設定 | | |
| | | 2週 | Chapter2,3 (語彙ターゲット: 外食、交通に関する語彙・文法ターゲット: 名詞、接続詞) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 | | |
| | | 3週 | Chapter4,5 (語彙ターゲット: エンタメ、宿泊施設に関する語彙・文法ターゲット: 知覚動詞、使役動詞、助動詞) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 | | |
| | | 4週 | Chapter6,7 (語彙ターゲット: 就職、コミュニケーションに関する語彙・文法ターゲット: 助動詞、時制) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 | | |
| | | 5週 | Chapter8,9 (語彙ターゲット: ビジネス交渉、プレゼンテーションに関する語彙・文法ターゲット: 現在完了、前置詞) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 | | |
| | | 6週 | Chapter10 (語彙ターゲット: ビジネス上の約束に関する語彙・文法ターゲット: 不定詞) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 | | |
| | | 7週 | Chapter1-10 復習・中間試験対策 | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 | | |
| | | 8週 | 後期中間試験 | | | |
| | 4thQ | 9週 | Chapter11 (語彙ターゲット: 公共施設に関する語彙・文法ターゲット: 仮定法過去) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 | | |
| | | 10週 | Chapter12 (語彙ターゲット: 街に関する語彙・文法ターゲット: 仮定法過去完了) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 | | |
| | | 11週 | Chapter13,14 (語彙ターゲット: 休暇、環境に関する語彙・文法ターゲット: 受動態、動名詞、分詞構文) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 | | |

| | | | |
|--|-----|--|--|
| | 12週 | Chapter15,16 (語彙ターゲット:住宅、会議に関する語彙・文法ターゲット:関係詞) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 |
| | 13週 | Chapter17,18 (語彙ターゲット:企業の業績、クレーム処理に関する語彙・文法ターゲット:比較、名詞、冠詞) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 |
| | 14週 | Chapter19,20 (語彙ターゲット:広告、宣伝、工場に関する語彙・文法ターゲット:名詞の数、数量形容詞、強調構文、倒置) | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 |
| | 15週 | Chapter11-20 復習・期末試験対策 | 各チャプターの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 |
| | 16週 | 答案返却 | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|----|----|------|-----------|-------|-----|
|----|----|------|-----------|-------|-----|

評価割合

| | 中間・定期試験 | 小テスト | ポートフォリオ (復習課題) | 合計 |
|---------|---------|------|----------------|-----|
| 総合評価割合 | 50 | 30 | 20 | 100 |
| 基礎的能力 | 50 | 30 | 20 | 100 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 |